

# 教育研究に向けて

令和元年度から3カ年計画の研究主題は「探究する子供を育てる教育活動の創造」です。「探究」を軸とするこの研究は、学校目標である「主体的人間の形成」の具現化を目指し、これまでの研究成果である「学びをつなぐ子供を育てる教育活動の創造」等を基に設定しました。1年次研究は「『問い』の発生に焦点を当て」としました。2年次研究は「各教科・領域における『探究型の学び』」、3年次研究は「子供が探究する学習づくり」を目指します。これからの研究成果が広範囲に活用され、ニーズに応える研究を目指しました。

ところで、附属旭川幼稚園・小学校・中学校も全国の附属学校園と同様に「国立教員養成大学・学部，大学院，附属学校の改革に関する有識者会議報告書（平成29年度）」により改善を指摘されているところです。その中心が、附属学校は公私立学校とは異なる，国立大学の附属学校としての存在意義や役割及び当該学校における特色を明確にすべき，とする指摘です。さらに，研究成果についても言及があります。各大学及び附属学校園は，その研究成果が教育委員会や公立学校等においてどの程度活用されているかを把握すること。また，成果の提供先の要望を踏まえて，その研究をより深化させるなど，双方向の研究成果の活用サイクルを作る点です。これらに対して，附属旭川幼小中が組織的・継続的に連携しながら，最北の附属学校園として道北地域等に責任を担うことで応えます。

本年度は，残念ながら教育研究大会を従来の形式で開催することはできませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための措置ではありますが，同時に研究の実践的プロセスを十分に確保することが難しかった点等も開催中止の理由となります。しかし，すでに進めてきた教育研究大会の改革の延長線上に，新たな研究大会の形態を検討しているところです。

最後となりましたが，関係各位の皆様におかれましては，日頃から本校の教育研究活動に対し，深い御理解と厚い御支援をいただいておりますことを，心より感謝申し上げます。そして，これからも御教示を賜りますことを，この場を借りてお願い申し上げます。



北海道教育大学  
附属旭川小学校 校長  
南部 正人